

2021年6月3日

各位

会社名 株式会社ジェイテックコーポレーション  
代表者名 代表取締役社長 津村尚史  
(コード番号：3446 東証第一部)  
問合せ先 取締役管理部長 平井靖人  
(TEL. 072-655-2785)

### 米国大型放射光施設 A P S からの 当社 “Osaka Mirror” 大型受注のお知らせ

当社は、米国シカゴのアルゴンヌ国立研究所 (Argonne National Laboratory : ANL) にある、世界有数の大型放射光施設 A P S (Advanced Photon Source) から、第 4 世代へのアップグレードに伴う新設ビームラインの各種超高精度ミラーを一括で受注いたしました。

受注金額は約 2 億円 (2022 年 6 月期売上見込み) であり、2018 年 6 月に公表しました米国スタンフォード大学内にある、S L A C 国立加速器研究所 (Stanford Linear Accelerator Center : SLAC) の X 線自由電子レーザー施設 L C L S (Linac Coherent Light Source) からの一括受注に次ぐ規模であります。今回の受注は、国内の大型放射光施設 S P ring-8 や X 線自由電子レーザー施設 S A C L A をはじめとする、世界各国での当社の実績に対する高い評価を示すものと考えております。

また、上記 L C L S からの追加受注も増加しており、米国における新型コロナウイルス感染者の減少傾向のなか、放射光を利用した研究開発が活発化してまいりました。加えて、A P S 以外の他の施設においても順次アップグレードを控えている状況であります。

これらの施設における当社ミラーを利用した研究成果によって、世界の各放射光施設における当社の放射光用 X 線ミラー “Osaka Mirror” の必要性の認識に繋がるとともに、宇宙や半導体等の産業分野への事業展開の足掛かりになると考えております。

今後とも、当社オプティカル事業の持続的な成長に向けて邁進してまいります。

#### ※【世界 3 大大型放射光施設】

第 3 世代と呼ばれる放射光施設とは、専用の加速器にアンジュレータ主体の挿入光源を多数設置できるように設計された施設のことであり、特に大型放射光施設と呼ばれるものとして、S P ring-8 (日本)、A P S (アメリカ)、E S R F (フランス) の 3 つがあります。

2000 年以降、この世界 3 大大型放射光施設の他に中大型の放射光施設が欧米、アジア、南米の各国で建設され、放射光施設の利用がますます拡大しております。

※【第4世代放射光施設】

従来のダブルバンドから、マルチバンドへと進化した放射光施設で、光の明るさが従来の第3世代放射光施設と比べて100倍以上となり、コヒーレンス性も高まるため、これまでなし得なかった研究成果が、医学分野、エネルギー分野等で得られることが期待されています。

現在の世界各地の新設あるいは計画中の放射光施設の大半が第4世代であり、2023年完成予定の東北大学の次世代放射光施設S LiT-Jも第4世代であります。「可視化」と「コヒーレント光」を武器に、AI・ビッグデータ活用時代の研究開発との融合により、我が国の研究開発力を抜本的に強化していくことを期待されています。

また、従前の第3世代の放射光施設においても、今回のAPSのような第4世代へのアップグレードが世界各地で数多く計画されています。

以 上